



2016～17年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2016～2017)

会 長/大 杉 幹 夫
 幹 事/江 口 久 夫
 会報委員長/永 木 寛

創 立/昭和38年10月 2 日
 例会日/水曜日 12:30～13:30
 例会場/新ロイヤルホテル四万十
 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
 TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
 ●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2482

第2613回 平成29年 2月15日 (晴れ)

本日のプログラム：職場訪問例会 (四国銀行中村支店)

2月22日(水) のプログラム：会員スピーチ 加用 高常会員

3月1日(水) のプログラム：会員スピーチ (高知分区IM報告)

職場訪問例会 (四国銀行中村支店)

【会長挨拶】大杉会長

本日は、四国銀行中村支店の職場訪問例会ということで、仙石支店長には大変お世話になりますがよろしくお願ひします。

【幹事報告】江口幹事

- ・家庭集会のご案内 (18:30～)
 - 社会奉仕委員会 2/15 (水) 炙り肉たかみ
 - 国際奉仕委員会 2/22 (水) 炙り肉たかみ
 - 青少年奉仕委員会 2/24 (水)
- 新ロイヤルホテル四万十
- ・高知分区IM 2/18 (土) 13時～城西館

■稲田職業奉仕委員長

本日は職場訪問で、四国銀行中村支店におじゃましました。仙石支店長、法人サポート部長の伊東様にお世話になります。館内の視察の後、伊東様に卓話をお願いします。



【本日のプログラム】 四国銀行中村支店 四国銀行法人サポート部長 伊東 瑞文様



四国銀行の地域貢献について

四国銀行法人サポート部の伊藤と申します。今日は四国銀行の地域貢献についてお話をさせていただきます。私たち四国銀行も地域で植樹・間伐や清掃活動等々行っています。しかしながら最も大切な地域貢献と言いますと地域の銀行としての力を生かしてお客様のサポートをさせていただき活性化に貢献することだと思えます。

多くの社員が入行の際、「地域貢献をしたい」と言います。私も、「ふる里高知の為に働こう」という思いで入行しました。

現在、地方創生ということで、尾崎知事肝いりの産業振興計画を平成22年の3月から県と提携をしまして、色々な事業に取り組んでいます。銀行にとっても地方創生に携わるということはとても重要なことです。

また、人口減少に対して危機感を持ちながら大きな課題に向かって挑戦しています。まち・ひと・しごと創生総合戦略、人口減少社会の到来ということで、仮に日本の人口が出生・死亡が今後一定で推移した場合ですが、3000年には約1000人となり、日本人がいなくなってしまうということになります。それくらい深刻な状況ですですから今できることをしっかりやっていないといけないと思っております。

頭取の言葉でございますが、一つ、地域の資源を活用する。2つ目は社会の変化に対応した商品サービスを提供する。3つ目は県外や海外への外商。それぞれが地域経済の活性化につながるような好循環を目指しています。

まず地域資源の活用とは、クラウドファンディングというサービスです。四万十市では(株)百笑カンパニーのパウダードレッシングなど、新しい商品についてインターネットを使ってたくさんの人に知ってもらうことで新しいマーケットを調査する事業です。

次に観光活性化への挑戦として、四国銀行と高知県とREVICの三者で連携して観光の活性化に取り組んでいます。高知県全体というのはなかなか困難なため物部川にターゲットを絞り、物部川流域で新会社「ものべみらい」を作りました。現在、アンパンマンミュージアムのホテルを買い取り今年の秋にリニューアルオープンの予定です。

続きまして、経営者の高齢化の問題です。1990年頃の社長の年齢は54歳で後継者不在率が35%でしたが現在の社長の年齢は66歳で後継者不在率は65%です。高知県の2015年の休廃業・解散率は全国15位でしたが、2016年は33位になりました。休廃業・解散ができる会社を何とかお手伝いできないかと思っています。事業承継・M&A・相続の相談などお手伝いさせていただいています。今後、専門家を交えたサービスをやっていると考えています。公認会計士、税理士、中小企業診断士、医業経営などの資格を持つ、行員7名がサポートしておりますのでしっかりとご相談を受けることができます。また、あらゆる分野の課題について四国銀行を窓口の中長期的にサポートし事業承継・M&A・相続のサービスをワンストップで提供しているように整えています。

最後に、学び応援債～未来への絆～についてご紹介させていただきます。こども達の成長を応援ということで当行が受け取る発行手数料の一部で物品を購入手、学校などに寄贈させていただいております。山田まんを作った山田高校に支援ということでタブレット端末を一式寄贈させていただきました。その他、久重小学校にトンネル遊具、高知県立盲学校へ液晶テレビ、ブルーレイと点字カードプレス機用ピンプレートを寄贈させていただきました。学び応援債ならやってもいいなあという企業様も増えておりますので、少しでも自分たちのサービスを通じて貢献していけたらと思っています。

以上で本日のスピーチを終わらせていただきます。どうもありがとうございました。